



新富町  
まちづくり  
基本構想  
実施計画

令和7年3月



# － 目次 －

## ～はじめに～

1. まちづくり基本構想とは	1
2. まちづくり基本構想の位置付け	2
3. 今回のまちづくり基本構想では	3

## I. 基本構想

### 第1章：新富町の概況

1. 新富町の概況	5
2. 新田原基地の概況	22
3. 上位関連計画	25

### 第2章：地域ニーズ

1. 第6次新富町長期総合計画策定に関するアンケート調査	31
2. 新富町介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	38

### 第3章：新富町まちづくりの課題

1. 現況整理結果のまとめ	41
2. 新富町まちづくりの課題	43

### 第4章：新富町まちづくり基本構想

1. コンセプト	44
2. 対象エリア及びゾーニング	45
3. 各ゾーンの取組方針	46

## II. 実施計画

### 第5章：施設整備計画

1. 総合福祉センター	71
2. 健康づくりプラザ	79
3. 上新田コミュニティセンター	91
4. 富田浜健康フィールド	99

### 第6章：設置及び管理運営方式の設定

1. 設置及び管理運営方式の種類	101
2. 各施設の設置及び管理運営方式	105
3. 各施設の管理運営計画	107

### 第7章：事業スケジュール

110

## 参考資料

1. 新富町まちづくり計画策定委員会	112
2. パブリックコメント	114

## 1 まちづくり基本構想とは

新富町では、これまで町が持つ豊かな自然環境や歴史及び文化等の地域資源並びに航空自衛隊新田原基地の存在をはじめとする地域特性をふまえ、住民生活の質の向上や地域産業の振興など、持続的な町の発展に寄与する取組を進めてきました。

その取組の一環として、防衛省「まちづくり支援事業」の補助メニューを活用するため、平成 27 年（2015 年）に策定した「新富町まちづくり基本構想」において、交流人口の拡大や産業振興の起爆剤となる地域活性化拠点施設の整備についてとりまとめましたが、その後対象としていた「三納代地区」においては、主として民間活力を活かした事業にシフトすることとなり、令和 5 年 4 月には、拠点施設の一つ「新富町フットボールセンター」がオープンし、隣接する「いちご宮崎新富サッカー場」とともに、スポーツ振興・交流の拠点として活用が図られてきました。

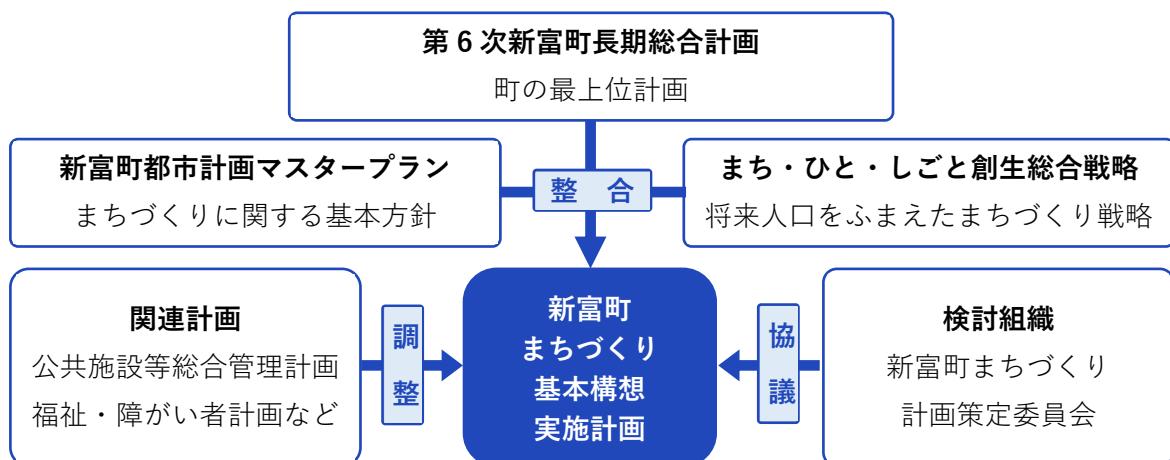
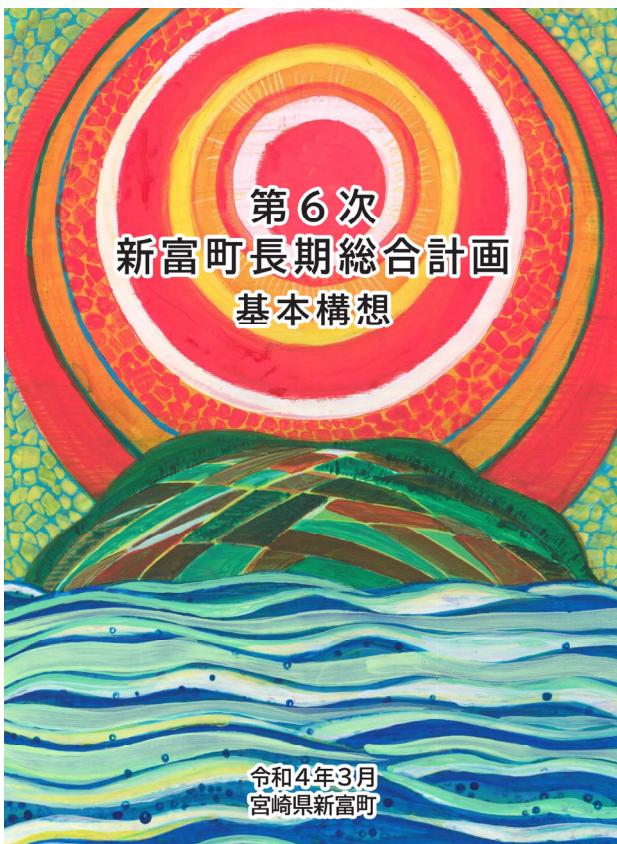
本構想は、改めて町のなかで求められるニーズを分析し、その計画を練り直すことで、今後のまちづくりの大きな方向性を示すものとなります。また、「基本構想」をふまえ「実施計画」をとりまとめ、防衛省の支援を受けて各種事業に取り組んでいきます。



## 2 まちづくり基本構想の位置付け

新富町は、町の最上位計画である「第6次新富町長期総合計画：令和4年3月策定」の中で、『子や孫たちが帰って来たくなるまち』を基本ビジョンに掲げ、地域内外の人々から「住んでみたい」「住み続けたい」「住んでいてよかった」「卒業後や定年後には帰って来たい」「ここで子育てしたい」と思われるまちを目指すこととしています。

まちづくり基本構想は、長期総合計画のほか、「新富町都市計画マスタープラン：令和2年1月策定」、「第2期新富町まち・ひと・しごと創生総合戦略：令和2年3月策定」や関連計画などとの整合を図りつつ、新富町まちづくり計画策定委員会での協議を通して策定するものです。



### 3 今回のまちづくり基本構想では

本町では、前回の「新富町まちづくり基本構想」および「新富町まちづくり実施計画」をふまえ、新たな地域交流拠点の整備を進めてきました。そうした中、令和に入って発生したコロナ禍による世界的なパンデミックの影響等により、政治・経済は混乱し、私たちの生活様式も大きく変化を見せてています。

昨今では、「SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）」の理念をふまえ、町の実情に応じた持続可能な社会づくりの推進、各種施策が SDGs の様々な目標に結びつき取り組まれることが求められています。



令和 3 年 9 月に実施した住民アンケート調査結果からは、「働く場づくり、公共交通の利便性向上、買物などの日常生活の利便性向上、高齢者・障がい者福祉の充実、医療サービス体制づくり」など、日常生活に関する取組への要望が多く挙げられていました。

本町を取り巻く環境として、今後は人口減少や少子高齢化の進展が予想されています。また、住民生活を支える公共施設をはじめとする主要施設については、老朽化が進み、施設の建替えや更新、維持管理に係る財政負担の拡大も予想されており、「新富町公共施設等総合管理計画：令和 3 年 11 月策定」では、今後の社会情勢をふまえた公共施設等の適正配置と有効活用を進めていくことが求められています。

#### 新富町公共施設等総合管理計画 ～公共施設等の総合的な管理に関する基本的な方針～

基本方針：今後の社会動向をふまえながら、総合的かつ計画的な管理を実施  
必要なサービス水準を確保しつつ、総量縮減を推進、新規整備を抑制  
新規整備を行う際は、既存施設との機能の複合化を検討  
改修・更新では、バリアフリー化やユニバーサルデザイン化等を検討  
高齢者や障がい者、妊婦、乳幼児連れ、外国人など、多様な利用者に配慮

そこで、今回のまちづくり基本構想では、住民の日常生活の質の向上に着目するとともに、町の持続的な発展に寄与することも考慮し、老朽化が進む公共施設や公共空間の機能更新・複合化を検討とした各種取組をとりまとめることとします。

# I. 基本構想



## 第1章：新富町の概況

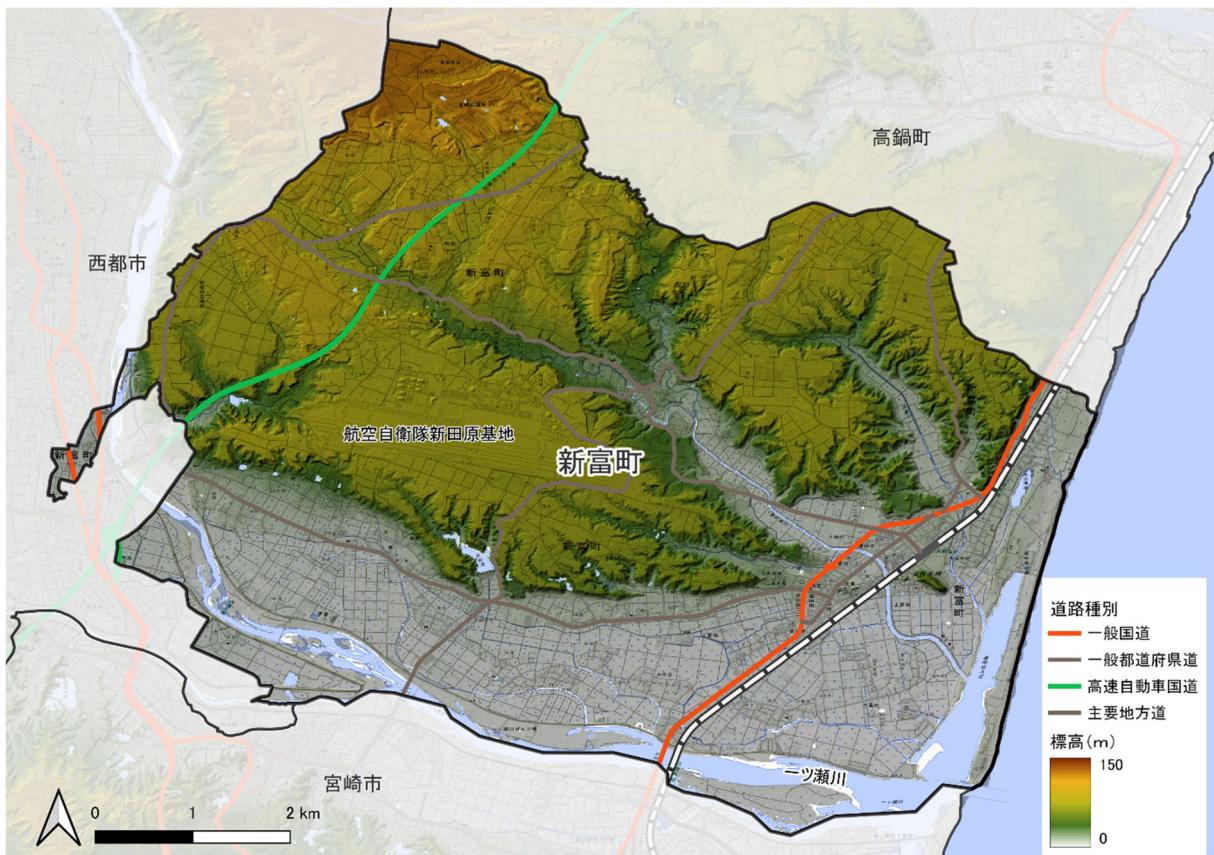
### 1 新富町の概況

#### (1) 位置・地勢

新富町は宮崎県のほぼ中央部の沿岸地帯にあり、北は高鍋町、西は西都市、南は宮崎市と接しています。総面積は 61.48 平方キロメートル、東西約 9km、南北約 7km のほぼ四角形で、北西部は高台の畠地帯、南東部一帯は一つ瀬川沿いにひらける平坦な水田地帯を有しています。

古くはこの平坦部は海中であったと思われ、貝化石等が発見され、北西部の高台一帯には、円墳や前方後円墳など 230 基余りが群集し、その名も新田原古墳群と称しています。

昭和 15 年、町の中央部高台地帯に新田原飛行場が建設され、戦時中は落下傘あるいは特攻隊基地として使用されました。終戦と共に開拓地として民有化されていましたが、昭和 32 年、航空自衛隊新田原基地が建設され、現在では、F15J ジェット戦闘機の基地として国土防衛の役割を担っています。



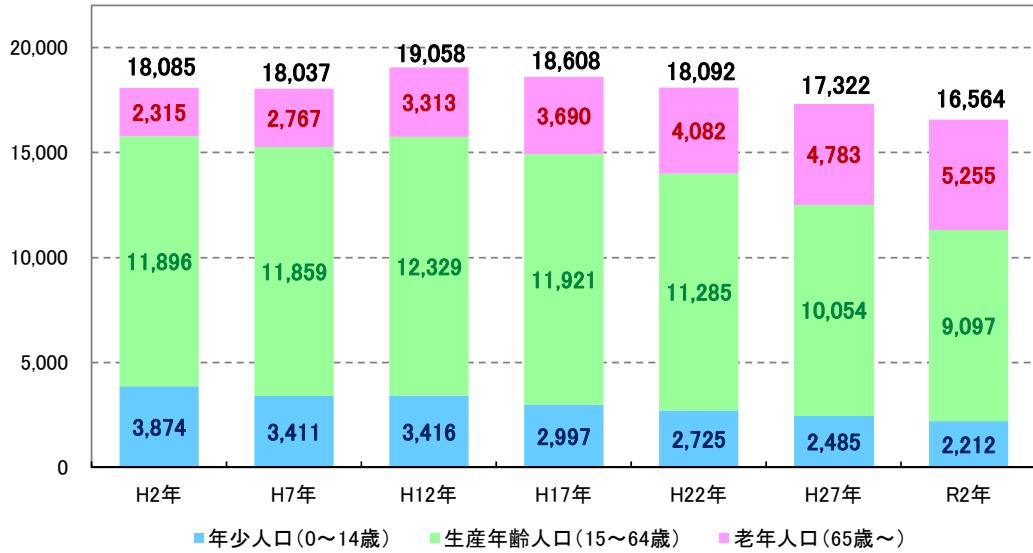
図：新富町の標高図

出典：国土地理院 基盤地図情報

## (2) 人口と世帯

本町の人口は減少傾向にあり、平成 2 年から令和 2 年までの 30 年間で約 1,500 人、平成 12 年のピーク時からは約 2,500 人減少し、令和 2 年の人口は 16,564 人となっています。

年齢 3 区分人口は、令和 2 年時点で、年少人口が 2,212 人（13%）、生産年齢人口が 5,296 人（55%）、老人人口が 4,750 人（32%）となっています。

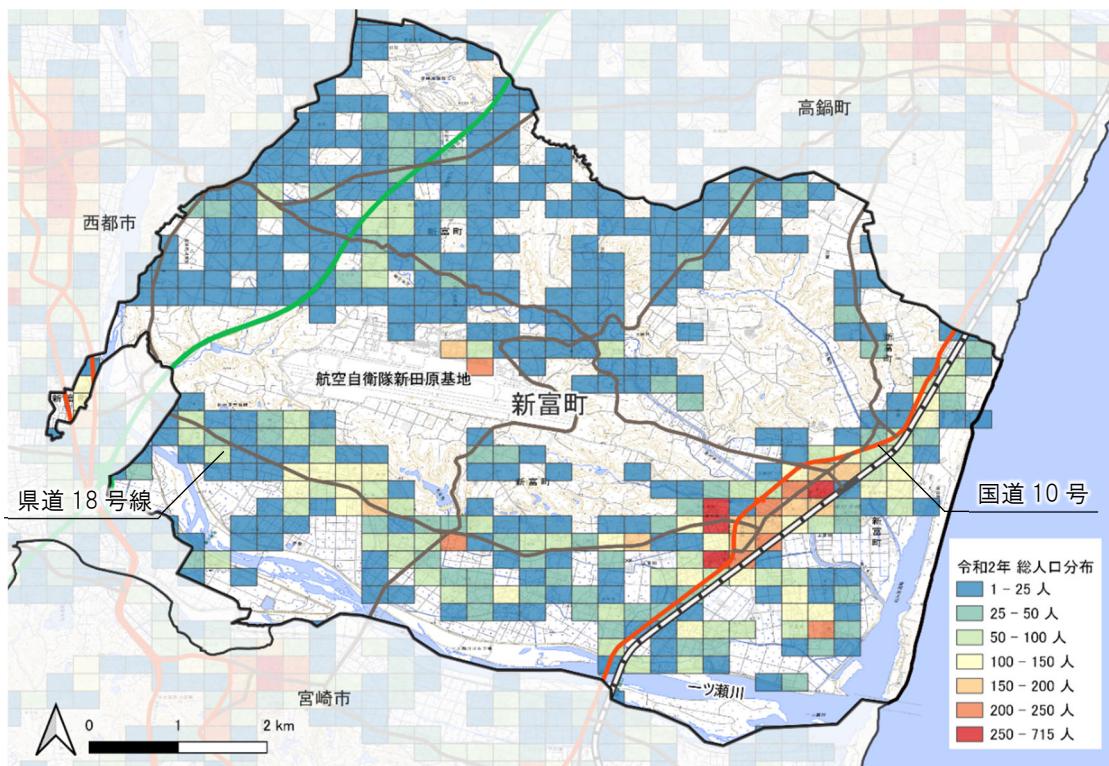


図：人口・年齢 3 区分人口の推移

出典：国勢調査

## (3) 人口分布

本町の人口分布は、国道 10 号の西側に最も人口が集積しています。また、県道 18 号線沿い及び、航空自衛隊新田原基地周辺にも人口が分布しています。

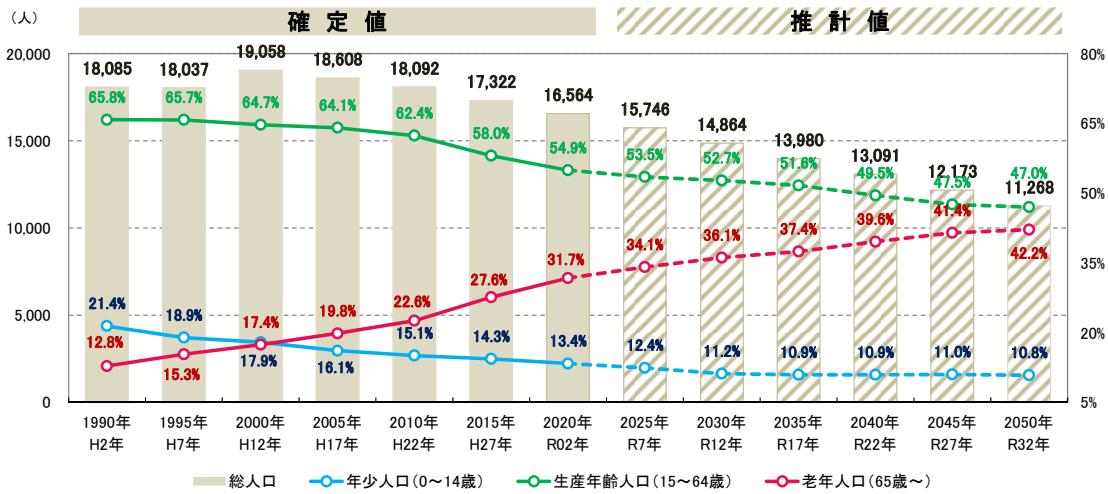


図：人口分布図(250mメッシュ)

出典：令和 2 年国勢調査

## (4) 将来人口

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」による  
と、本町の人口は減少が続くと予測されており、2050年には11,268人と推計され2000年人口の  
約40%減少、高齢化率は2050年には約42%まで増加すると予測されています。

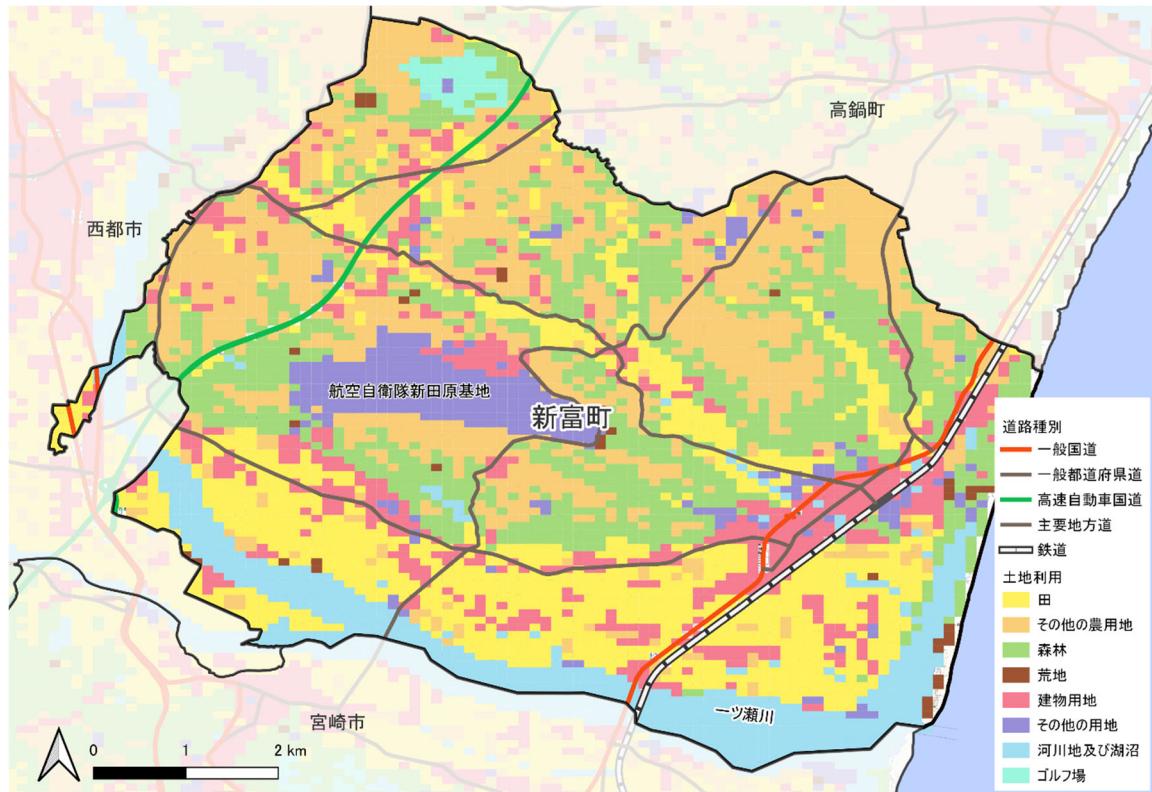


図：総人口及び年齢3区分別人口(割合)の将来推計

出典：確定値は国勢調査、推計値は国立社会保障・人口問題研究所

## (5) 土地利用

町の中央部から北部にかけては高台の畠地帯で、その周辺に森林や植林地が広がり、高台の中央部は航空自衛隊の基地があります。南部一帯は、二級河川一つ瀬川沿いにひらける平坦な水田地帯となっており、宅地は東部の国道10号沿いと中央部の丘陵地の麓に集中しています。



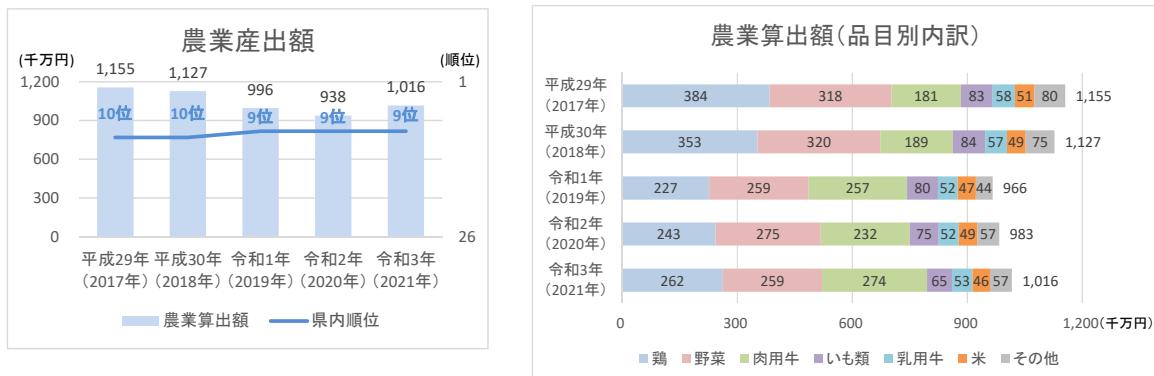
図：新富町の土地利用図(令和3年)

出典：国土交通省 国土数値情報

## (6) 産業構造

### ①農業

令和2年の国勢調査によると、産業分類別就業者人口の割合は農業が17.2%と最も多く、県平均(8.6%)より8.6ポイント高い水準であり、基幹産業の一つとなっています。農地面積は約2,600ヘクタール、水田地帯では早期水稻、施設園芸が盛んであり、トマト、キュウリ、ピーマンなどが栽培されています。畑地帯では甘藷、大根、茶等の栽培の他、養鶏、肉牛、酪農などの畜産が盛んです。農業産出額は県内26市町村中9位で、「鶏」「野菜」「肉用牛」が町の農業算出額の3/4を占めています。



出典:市町村別農業産出額

### ②工業

製造業は令和3年において、事業所数(27社)、従業者数(1,168人)は増加していますが、製造品出荷額等(211.8億円)は減少傾向にあります。

	平成28年 (2016年)	平成29年 (2017年)	平成30年 (2018年)	令和1年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)
事業所数	29社	27社	23社	21社	24社	27社
従業者数	1,187人	1,061人	1,037人	1,081人	1,143人	1,168人
製造品出荷額等	323.0億円	309.4億円	242.7億円	170.5億円	225.9億円	211.8億円
1事業所当たりの 製造品出荷額等	11.1億円	11.5億円	10.6億円	8.1億円	9.4億円	7.8億円

出典:工業統計調査・経済構造実態調査

### ③商業

令和3年において、小売業の年間商品販売額、売場面積当たり販売額は減少傾向にあります。

	平成24年 (2012年)	平成28年 (2016年)	令和3年 (2021年)
店舗数	135店	128店	110店
従業者数	567人	572人	591人
売場面積	8,324m <sup>2</sup>	11,152m <sup>2</sup>	14,691m <sup>2</sup>
年間商品販売額	96.2億円	99.2億円	79.3億円
売場面積当たり販売額	115.6万円	89.0万円	53.9万円

出典:経済センサス